

作成日：2021年3月29日【第2版】

## 多目的コホート研究基盤を用いた認知症とがんとの関連に関する研究

### 1. 研究の対象

平成元年度において、岩手県二戸、秋田県横手、長野県佐久、沖縄県中部(旧石川)、葛飾区(旧東京都葛飾)の各保健所管内在住のその当時40-59歳だった約6万人(コホートⅠ)、および、平成4年度において、茨城県水戸(旧笠間)、新潟県長岡(旧柏崎)、高知県中央東(旧土佐山田)、長崎県上五島(旧有川)、沖縄県宮古、大阪府吹田の各保健所管内在住のその当時40-69歳だった約8万人(コホートⅡ)の多目的コホート研究(JPHC Study)に参加された合計約14万人です。

### 2. 研究目的・方法

本研究計画は、平成元年度より継続されている多目的コホート研究(JPHC Study)で収集された情報データを用いて、認知症の予防要因について明らかにし、また認知症とがんとの関連について明らかにする研究です。本研究では、生活習慣とがん・循環器疾患などの疾病また健康寿命の延伸との関連について明らかにするための情報を得るために、研究対象者から生活習慣についてのアンケート調査を行いました。一方、2000年から開始された介護保険情報を用いることで認知症の把握ができることもわかってきました。そこで、アンケートから把握される生活習慣と、適切な指針・法律・条令に則して市町村が保有する介護保険情報の提供を受け、そこから判断される認知症との関連について、匿名化した集団として解析し、認知症における予防要因・危険要因を明らかにします。また、認知症の方がその後のがんになるリスクや、がんの方がその後認知症になるリスクについても検討します。

研究実施期間は2026年3月7日までを予定しています。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

アンケート情報

介護保険情報(氏名、生年月日、住所、介護保険情報、など)

### 4. 外部への試料・情報の提供・公表

提供

情報の送付は、書留・配達記録など、受取人の手元に確実に届くことを保証する仕組みを用いる。電子媒体では、暗号化・パスワード管理など、第三者がファイルを容易に閲覧できない仕組みを施す。

公開

研究で得られた成果は国民へ広く情報を還元するために、ホームページで公開しますが、集団の値が公開され、個人を特定できるような情報は公開されない。

## 5. 研究組織

国立がん研究センター 澤田典絵、井平光、津金昌一郎、井上真奈美、  
高知大学 安田誠史  
筑波大学 山岸良匡

## 6. 問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、  
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、対象者ご本人、もしくは対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。

この場合も対象者ご本人に不利益が生じることはありません。

照会先：

〒104-0045 東京都中央区築地5-1-1  
国立がん研究センター 予防研究グループ 澤田典絵  
TEL 03-3542-2511（内線1946）、FAX 03-3547-8580  
e-mail: jphcadmin@ml.res.ncc.go.jp

研究事務局責任者：国立がん研究センター 井平光

研究責任者：国立がん研究センター 澤田典絵